

産学官フロントライン

山陰合同銀行

「産学官金連携による地域活性化へ向けた取り組みについて」

山陰合同銀行 地域振興部 地域振興グループ

当行では、地元大学をはじめとした外部機関とのネットワークを構築することにより、コンサルティング機能の強化を図っておりますので、その一部をご紹介します。

■外部機関とのネットワーク

外部機関と連携し、それぞれが持つ強みを相互に活用することにより、取引先企業の事業支援および地域課題へのソリューションを提案しています。

【連携している外部機関】

大 学	島根大学・鳥取大学
行 政 等	島根県・雲南市・浜田市・益田市・津和野町・吉賀町 鳥取県・鳥取市・米子市・境港市・鳥取県産業振興機構
その他機関	大田区産業振興協会・日本宇宙フォーラム 他

■産学官金連携の取り組み事例

(1) 島根大学・鳥取大学

大学が保有する研究シーズや技術を活用した取引先企業の課題解決等を図ることを目的とし、これまでに両大学で合計10回のシーズ発表会を開催しています。取引先の経営資源を有効活用した新商品開発や、大学の研究シーズを利用した新事業立ち上げに向けた共同研究をマッチングしております。

(2) 大田区産業振興協会

地元企業の技術的課題（機械化ニーズ等）への対応として、優れた技術を有する東京都大田区の企業による「現地視察・商談ツアー」を実施し、業務の効率性を高める支援を行っています。

(3) 日本宇宙フォーラム

行政等との連携による「宇宙技術活用セミナー」を開催しています。また、宇宙航空研究開発機構（以下「JAXA」）へ当行行員を派遣し、JAXAが保有する特許技術を取引先企業に紹介するとともに、宇宙航空関連企業とのマッチングを行っています。

■大学発・産学連携ファンドの設立

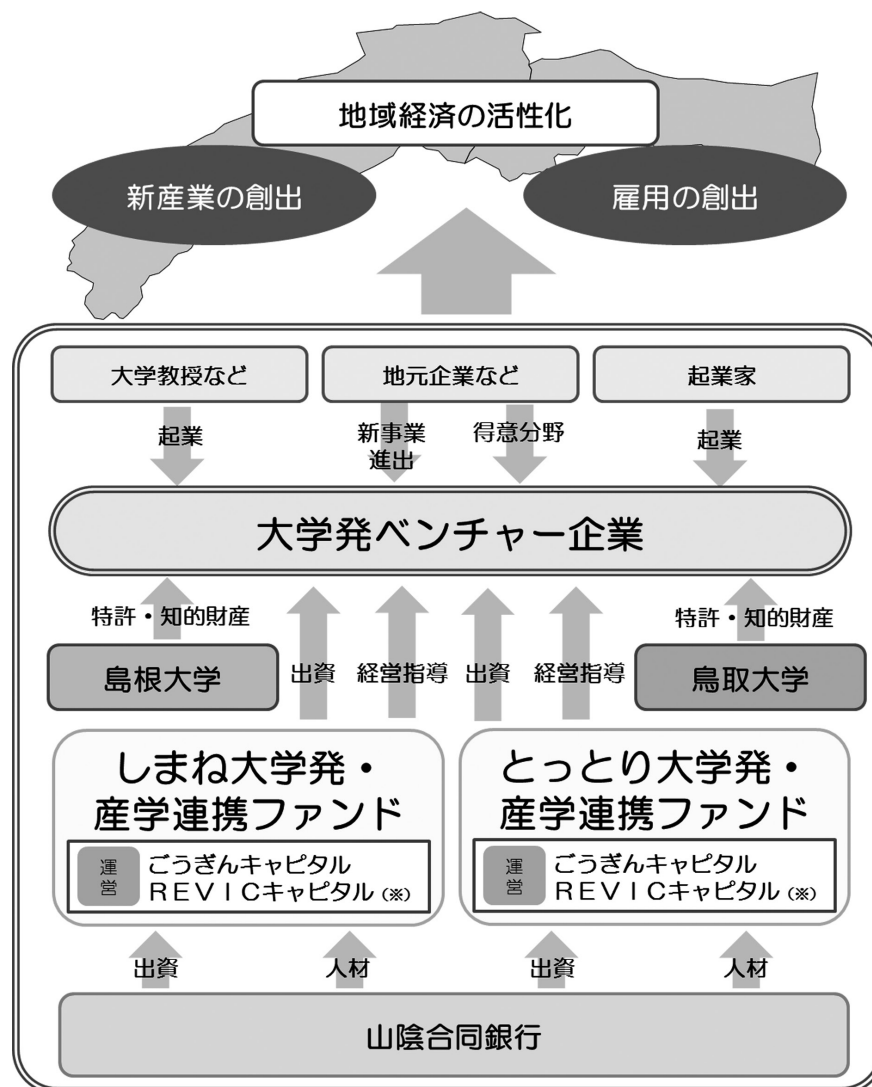
大学発のベンチャービジネスを投資対象とした「大学発・産学連携ファンド」を設立しました。大学の研究シーズ・知財を活用（技術移転含む）したベンチャー企業等の事業化へ向けた支援を強化し、産業創造や雇用創出による地域経済の活性化に貢献してまいります。

【ファンド概要】

名 称	しまね大学発・産学連携ファンド	とっとり大学発・産学連携ファンド
総 額	10億2,000万円	10億2,000万円
期 間	7.5年間	7.5年間
出資者	山陰合同銀行 ごうぎんキャピタル※ REVICキャピタル※	山陰合同銀行 ごうぎんキャピタル※ REVICキャピタル※
設 立	平成27年1月	平成27年1月

※出資者兼ファンド運営者

【イメージ図】



※REVICキャピタルは株式会社地域経済活性化支援機構のファンド運営を行う子会社です。

【お問い合わせ】

山陰合同銀行 地域振興部
 地域振興グループ 井上／嶋田
 〒690-0062
 島根県松江市魚町10番地
 TEL：0852-55-1821/1826